

冬休みの課題としての利用

～ 弱点補強プリントを併用した、システムの活用～

笠原 康弘^{*1}

中学1年生の指導をしていると、小学校の計算の基礎・基本が定着していないために、中学校の数学の授業についていくことができない生徒が見られる。そこで、2学期終了時点で、「算数プロジェクト」の問題を印刷、製本して、冬休みの宿題として渡してみた。そして、3学期に入ってから、インターネットに接続して、確かめ問題をやらせてみたところ、生徒はとても意欲的に取り組むことができた。また、冬休み中に、家庭から接続して問題を解いてみた生徒もいた。学校だけでなく、家庭においても同じ学習ができることの良さを感じた。

<キーワード> ネットワーク，算数・数学，個人学習，小中高の連携

1. はじめに

「楽しく学ぶ算数・数学プロジェクト」は、ネットワークを通して学校と家庭を結び、基礎・基本の定着を目指すことを目的として作られたものである。そのうち、昨年度作られた、算数のちからだめしの問題は、現在の中学生に対しても、有効に働くと考えた。

そこで、中学1年生に対して、算数のちからだめしの問題を、『冬休みの課題』として出したり、ネットワークを通して実践したりして、生徒たちの意識の変容を見ていくことにした。

2. 実践

(1) 冬休みの前

本校は、岐阜市の中で最も小規模の中学校で、全校生徒は260名である。ちょうど、本校は夏

休みに校内LANが完成し、各教室まで、情報端子をつけてもらったが、活用していないままであった。

11月29日に、1年生の全教室にノートパソコンとプロジェクターを持ち込んだ。教室の情報端子から、「楽しく学ぶ算数・数学プロジェクト」



に接続し、代表の生徒にIDとパスワードを入力させて、画面にその生徒の名前が出た時には、驚きの声が起こった。

そこで、システムについて説明した後、その中の4～6年生の「練習問題」を分類して、【分数編】【図形編】【グラフ・比編】の3つの問題集を作っ

^{*1} KASAHARA Yasuhiro : 岐阜市立藍川北中学校 (〒501-3107 岐阜市加野 2-23-1)

た。その中から、自分の弱点だと思うものを選択して、冬休みの宿題とすることにした。

3クラスの79名が選択した、それぞれの冊数は、次の表1の通りである。(複数選択可能とした。さらに、余談であるが、2年生にも希望を募ったところ、延べ129冊を希望した。)

表1 1年生生徒の希望冊数

	グラフ・比	図形	分数
1年1組	18	25	15
1年2組	15	10	14
1年3組	9	5	11
合計	42	40	40

(2) 冬休み明け

3学期に入り、「弱点補強問題集」で練習したことを元に、パソコン室からインターネットに接続し、「楽しく学ぶ算数・数学プロジェクト」のシステムを活用しようと試みた。

だが、本校のインターネット接続は、ISDN 64の1回線のみであり、数台のパソコンからイ



ンターネットに接続すると、非常に遅くなり、実用に向かない。そこで、同じ問題を印刷した「テキスト」を活用することにした。

生活班が6つあるので、各班で、接続して問題を解く順番を決めて、残りの生徒はテキストの問題を解くという方法を考えた。この方法だと接続しているパソコンが分散するので、システムをうまく活用することができた。

(3) 生徒の感想より

1) 冬休み前

「今日、数学の時間に、自分の家でも先生に質問したりできる、次世代の授業みたいな話を聞きました。家にパソコンがあるので、やってみたいなーと思いました。」

「今日の授業で、私がみんなの代表でやってみました。あまりパソコンに慣れていないので、ちょっととまどったけど、楽しかったです。中学1年生用のページができたならやってみたいなあと思ったし、家にもパソコンがほしいなーと思いました。」

2) インターネット活用実践後

私は数学が嫌いだし、苦手だけれど、パソコンを使えば、少しは楽しくなって、少しは数学を好きになると思います。

こういうので、国語や社会など他の教科のもあるといいと思った。

家からでもできるのもすごいと思った。

パソコンで問題をやっても、暗算できなくて、紙に書いてやるんだったら、普通の問題集の方が楽だと思った。

3. まとめ

現場では、なかなか学校に足が向かない生徒もいる。また、学校に来て、教室に入ることができない生徒もいる。しかし、そういう生徒たちも、授業についていけなくなるのではないかと...という不安はいつも抱えているのである。そういうとき、いつでもどこでも学習できるこのシステムは、安心して学習に取り組むことができ、それが自信につながって、いつか学級に入ったときに授業についていく学力を培っておくために、とても有効なシステムだと考えた。